

岡山市立公民館基本方針の概要

公民館検討委員会答申 (H12)

岡山市立公民館基本方針 [ともに わたしたちが 未来をつくる 開かれた公民館]

<公民館の基本機能>



<公民館の役割>

- ① 地域住民のふれあいの場
- ② 地域の文化創造拠点
- ③ 課題解決力を身につける場
- ④ 時代を拓く共生のまちづくり拠点
- ⑤ 地域づくりの多様なネットワークのかなめ
- ⑥ 新たな行政課題に対応する拠点

<取組>

- ・ 地区館の自主的取組の増加
- ・ 地域課題に沿った講座、関係課と連携した取組の充実
- ・ ESD、市民協働の推進
- ・ 各中学校区37館に公民館設置
- ・ 専門性を持った職員配置

<成果>

共生のまちづくりの拠点とし、全市で市民とともに、ESDなど新たな課題も取り入れながら生涯学習、学びを通じた地域づくりの充実。

⇒ 「ESD岡山モデル」として評価

<課題>

少子高齢化等社会情勢の変化に併せた新たなニーズへの展開

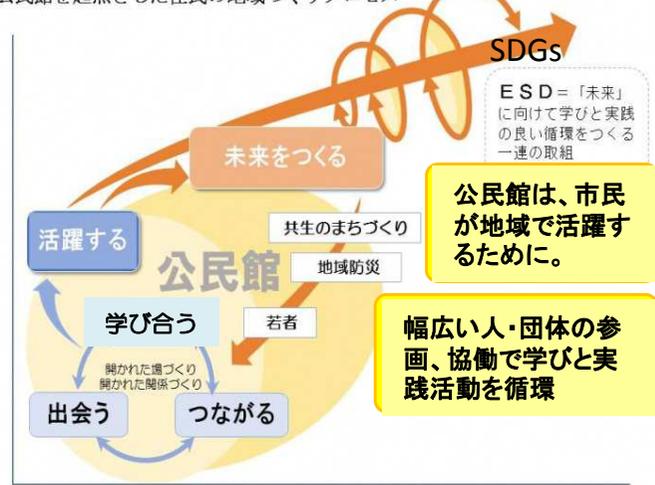
<位置づけと期間>

岡山市第六次総合計画、第2期岡山市教育振興基本計画等に沿い、概ね10年後に向けた基本方針

<めざす公民館像>

すべての人に開かれ、地域から世界へと開かれた自由な学び合いにより、多様なつながりが生まれ、社会の問題をわたしたちのこゝとしてとらえ、学びと実践を繰り返しながら未来へと一歩一歩進み、一人ひとりの人生を豊かに、そして、持続可能な社会づくりに貢献する公民館を目指す。

公民館を起点とした住民の地域づくりプロセス



<方針推進に向けて>

- ① 公民館を統括するしくみ
- ② 新たな活動創造のための共同体
- ③ 市民参画協働の促進
- ④ 人材養成
- ⑤ 関係組織との連携協働
- ⑥ 資金資源の多様化検討
- ⑦ ニーズに応じた施設管理
- ⑧ 地域への広がり进行评估

<社会情勢の変化>

・ 人口減少・少子高齢化の進展・地域社会でのつながりの希薄化・共生のまちづくり、防災や安全安心など、各分野での持続可能な社会に向けた問題を背景に今後の公民館活動をつくる

<社会教育をめぐる状況>

(国の動向) 新答申「開かれつながる社会教育」(学社連携) 地域学校協働活動 (ESD)SDGs達成にESDの取組重要 (社会教育提供主体の多様化)

<公民館の役割>

出会う	・フラットに話し合える自由闊達な場 ・誰でも気軽に立ち寄り、憩い、多様な人やことと出会い、ふれあえる場
つながる	・課題が見える化、地域へとつなげる ・新たな人や関係機関との多様なつながりをつくる
学び合う	・生涯活躍のための学び ・ESDの視点にたった課題解決学習 ・地域協働学校等との連携
活躍する	・公民館から地域の活動へつなげる ・活動を支える準備、学び直しの提供

未来をつくる

地域の未来の姿を住民自らが考える取組を支援

重点

共生のまちづくり	・多様な人の支え合いの地域作り ・年令、性別、障害、国籍等に関わらず社会参画
地域防災	・防災・減災、災害からの復元する力を高める
若者	・中、高、大学などと地域をつなぐ ・若者の主体的な地域参画の応援

持続可能で社会全体で人々が支え合う社会の実現へ